

藤 支 第 2 0 0 号
令 和 3 年 1 月 8 日

保護者 様

大阪府立藤井寺支援学校
校 長 綿 谷 輝 昭

令和2年度 第2回学校運営協議会について（報告）

令和2年11月27日（金）に開催致しました学校運営協議会の要旨を報告致します。

会 長：北川 末幾子（大阪府立大学 非常勤講師）
副会長：中島 智子（大阪大谷大学 特任教授）
委 員：吉松 崇（藤井寺市立藤井寺小学校 校長）
竹澤 住江（卒業生保護者 しゅらの郷福祉会理事 支援センターしゅらの郷管理者）
松山 一雄（藤井寺市河北地区 区長）
根田 真理子（PTA会長） *敬称略

1 開会

- ・挨拶 校長 綿谷 輝昭
- ・配布資料の確認
- ・委員紹介
- ・会長の選任
- ・学校運営協議会実施要項の改正について

2 報告

①令和2年度 進路状況について（進路指導部）

概ね事業所からは内定をいただき順調に進路決定している。
就労継続A型の施設に行く生徒がいる。最低賃金をいただける。仕事量が多い。

②授業アンケートについて（教頭）

③学校自己診断アンケートについて（教頭）

保護者アンケート集計の中で、「学校は、いじめについて子どもがこまっていることがあれば真剣に対応してくれる」に否定的な回答が複数名いた。大阪府から依頼のあった、いじめに関するアンケートを3回実施している。また、いじめ対策委員会を実施し、早期発見に努めたい。

（会長）学校教育自己診断保護者アンケートの中で、いじめ対策についての設問に否定的な回答が一名いる。コロナによる偏見などによるいじめ等はありませんか。

（校長）現在はない。昨年度、いじめの項目に関しては、一名でも否定的な回答があってはいけない、数の多い／少ない ではない、とのご指摘を受けた。今年度は、いじめ対策委員会の実施だけでなく、担任と話す会をできるだけ設けるようにしている。

（会長）安全面を考慮した環境づくりをしていただきたい。

3 協議

①令和2年度「学校経営計画」について（校長）

1 開かれた学校づくりと安全・安心な学校づくりの推進

・校内保健委員会の中で、学校保健全般、食物アレルギーについて、および食育の項目を入れ込んだ。

・保護者支援のための相談会を北川会長に依頼。12月と3学期中に実施予定。

・校内安全委員会の中で、学校保健全般について、食物アレルギー、食育についての内容を入れている。

・防災について、BCPの改訂を行っている。また、通学バスの運行コース上の一時避難場所確保、避難時の教職員同士の連絡手段について等を検討している。

学校防災アドバイザー派遣事業を活用し、ご助言をいただいている。

(担当者より)今年度、全国肢体不自由教育研究協議会(今年度はweb開催)に、ポスターを発表した。川北地区との連携、市町村との連携、近隣学校との連携について検討している。近隣の柏原高校との連携についてスタートしたところである。

今後の課題は、肢体不自由の支援学校であること、医療的ケアを必要とする児童生徒がいることを踏まえ、必要な対策を考えていくことである。

2 特別支援教育の専門性と授業力向上を基礎とした学校力の向上

・自立活動と各教科との連携についての推進、自立活動アドバイザーを4人に増やし担任団との連携を強化、授業力向上に向けた「授業者支援会議システム(JSS)」の実施者の経験を深める、等を行っている。

(担当者より)JSSは4名でひとつのチームとなっている。授業者が普段困っていることを「オーダー」として提示し、残り3名で授業見学する。挙げたアドバイス・ポイントの中から授業者が案を選ぶシステム。次につながるアドバイスをいただくと好評である。

3 南河内地域における支援教育のセンター的役割の充実と地域連携の強化

・地域の小学校との年間を通じた協働研究、リーディングスタッフやコーディネーターの常駐体制を構築、などに取り組んでいる。

(担当者より)昨年からの羽曳野市に加え、松原市の小学校でも実施。1年生にビジョントレーニングを実施した。3月にアフターアセスメントを行う。

(今年度は時間短縮のため、積極的な質疑応答は実施せず。後日、質問・意見・アドバイスなどを記録用紙に記入し、提出していただく。)

4 次回連絡

閉会

5 ボッチャクラブ見学(体育館)

(以上)